

# 「生きる力」をはぐくむ評価のあり方

## I 主題設定の理由

本部会ではこれまで、子どもたちに『生きる力』をはぐくむため、子どもの学ぶ意欲や学びの過程、学びあう人間関係づくりを大切にし、社会に出て生きる力につながる『ゆたかな学び』を保障していくことに焦点を当て教育研究活動を進めてきた。子ども一人ひとりの『ゆたかな学び』を保障するためには、各学校における児童・生徒や地域の実態に応じた教育課程の編成・実施や、それに伴う指導法の工夫、指導の振り返り改善、適切な評価と支援など、様々な重要な要素が考えられるが、本年度も日常行っている評価を見直し、児童の学び・変容を丁寧に見取り、具体的・積極的な評価を行うことで次の学習活動への意欲を高め、確かな学力の定着をいっそう図りながら『ゆたかな学び』を保障していきたいという考えにたち研究を進めてきている。

## II 研究の内容

### 1 研究の方向性

令和2年度は、コロナ禍で直接的な対話に制限がある中において、書くことを通しての交流や学び、視覚化しての学びなど、学びのスタイルも工夫しなければならない現状であったが、評価については多教科に関わった OPP やノートの利活用など負担にならず継続して取り組める評価方法を検証し確認することができた。

### 2 研究授業

- ◇ 本年度は、部会員の先生方の授業実践の報告・検討を中心にして研修を深めた。
- ◇ 令和2年2月5日（水）に行った古屋岳治先生（玉宮小）の道徳の授業を次年度の県教研レポートとすることを部会で確認している。

## III 成果と課題

### 1 成果

- ・1枚ポートフォリオなど児童の成長を効果的に見取るための評価とともに、子ども同士のかかわりや子どもたち自身による評価など新しい評価の視点をつけ加える中で、評価の幅が広がり様々なアイデアの研究実践があげられたことがよかった。
- ・感染症対策を講じながらの研究となり、実際の授業を見て「生きる力」を育む評価のあり方を考えることはできなかったが、児童の成果物を持ち寄りまた1枚ポートフォリオから児童の姿を見取ることができた。特に昨年度の統一授業研究（道徳）の授業の様子をビデオで見られたことで、部会で研究していることやこれまでの経緯を少し理解することができた。（今年度、入ってきたばかりだったため、嬉しかった。）
- ・これまでの研究で得たことをもとに、それぞれの先生が日頃の授業の中で取り組み、児童

が自らの学習を振り返ることができるようになってきている。一枚ポートフォリオに書かれる児童の文章から、学習に主体的に取り組んでいる様子がうかがえる。お互いの実践を持ち寄ることでたくさんの教科のポートフォリオについて学びあうことができてよかった。

- ・教師の言葉がけや児童の見取り方についても、話し合うことができてよかった。普段の授業の中で心がけ意識して実践していきたいと思った。実践事例の持ち寄りにより、普段の取り組みの様子（先生方のコメントやポートフォリオの形式など）がリアルに分かり大変勉強になりました。
- ・今年度はじめに昨年度の研究授業の様子をビデオで見ることができ、今研究がどのように進んでいるのか理解できた。1つの実践について改めて学ぶ機会にもなったと思う。（教師の評価言、子どもの評価）。キャリアパスポートとの関連も考えられる。ポートフォリオにより、より細やかに子どもを見ることにより、子どもの意欲の高まりや理解の深まりが見られた。研究授業及びその他の実践から学ぶところが大きかった。
- ・こうした理由から、もう一度ポートフォリオについて学び直すのも有意義だと思った。
- ・本年度は、英語科の研究討議も行うことができ評価の視点や方法など学ぶことができ大変勉強になった。

## 2 課題

- ・本年度は、コロナ禍で直接的な対話に制限がある中において、書くことを通しての交流や学び、視覚化しての学びなど、学びのスタイルも工夫しなければならない現状である。こうした中、評価についてもノートの利活用など負担にならず継続して取り組める評価方法を今後も探っていきたい。
- ・新型コロナウイルス感染防止を考えた実践については、来年度も継続して取り組んでいく必要がある。そして、それを効果的に無理なく評価していく方法を研究していけるとよい。

## 3 今年度も研究で確認できた一枚ポートフォリオの実績

### 1) 児童と教師の視点から

- ① 1枚の紙面に、学習前・学習中・学習後が書かれるので、見やすい。
- ② 書かれた学習履歴によって、児童の考え、思い、意欲が見えてくる。

### 2) 児童の視点から

- ① 自分の予想、考え、履歴などを振り返り、知識や考えを深めることができる。
- ② 1枚のシートのなかで、学習による変容を確認したり、学習することの意味（学習してできるようになった、わかった、大切だ）を感じたりできる。

### 3) 教師の視点から

- ① 児童の既存の知識や考えを把握することができる。
- ② 学習履歴の記録内容から、次の指導の改善に活かすことができる。
- ③ 学習履歴から児童の学習評価や教師の授業評価に役立てることができる。

（部長 小林 光三）